

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	沖縄県宮古島地区における脳卒中罹患率経年変化の要因研究
当院の研究責任者 (所属)	大屋 祐輔 琉球大学大学院 医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座
既存情報の提供を行う 機関および担当者	宮古島徳洲会病院 廣渡 佐登子 沖縄県健康づくり財団 新城 真紀
本研究の目的	私たちはこれまで沖縄県宮古地区において脳卒中発症調査を行い、宮古地区における脳卒中発症者数や罹患率の変遷を明らかにしてきました。今回、この変化の要因が何かを明らかにする目的で、宮古地区在住者の住民健診データを用いて分析を行います。
研究実施期間	実施許可日～2025年3月31日
調査データ(該当期間)	1987年、2001年、2011年、2015年度に宮古地区在住の住民検受診者 予測登録数 各年 12,000程度。
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 1987年、2001年、2011年および2015年度の宮古地区在住者の住民検診受診者 ●利用する試料・情報 住民健診登録 基本情報：住所（市町村のみ）、検診受診時年齢、性別、リスクファクター（高血圧、脂質代謝異常、腎機能障害、不整脈、脳卒中）の既往および内服薬、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、身長、体重、血圧、血液検査（CBC、生化学、HbA1cなど）、尿検査。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	住民健診データは沖縄県健康づくり財団、宮古島徳洲会病院より琉球大学へ個人情報が含まれない形で提供が行われます。データは特定の関係者以外アクセスできない状況で取り扱われ、当センターの研究責任者が保管・管理します。

試料・情報の二次利用	本研究で得たデータを別の研究で利用する可能性があります、その場合は、改めて倫理審査委員会に審査申請を行います。
個人情報の取り扱い	住民検診データは沖縄県健康づくり財団、宮古島徳洲会病院より琉球大学へ個人情報が含まれない形で提供が行われます。また、研究成果は学会等で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：098-895-3331（内線：1150） 担当者：奥村 耕一郎
備考	本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、解析が終了している場合、論文化されている場合はその限りではありません。